

医療費助成の課題は何か

不育症、障害者医療費など

9月議会
一般質問

栗山香代子議員



9月議会の一般質問は9月5日から7日までの3日間。党議員団は5日でした。
登壇での質問と市長答弁です。

ここ数年
来、日本の
秋の恒例行
事となった
感のある。

首相交代が行われたばかりです。これからの日本の復興・再建をどうしていくのか、国民の立場での政治が進むよう、しっかりと、見ていかなくてはなりません。

これらの政治の混乱の中で、東日本大震災から、半年が経とうとしています。親しい人をなくし、家や、仕事をなくしたままに生きていくことのつらさは、どれほどの事かと思えます。その上、長引く仮住まいの暮らしで、体調を悪くする方も出ています。医療機関も被災してはいますが、仮設の場所診療できるようになっています。現在、国の施策として医療費が無料となっており、被災した方にとって、大きな安心に違いありません。

病気のけがなどは予測がつきませんから、現在の医療制度の中で、医療費は場合によって、過剰な負担になってしまっています。今年、7月の「いよきん地域経済研究センター」が愛媛県内の大学生に実施した調査では、結婚したいと考えているのは女性95%、男性92%。結婚したいと考える学生全員が子どもが欲しいと答え、子どもの人数については、88%が2人、25%が3人という結果が出ています。

今週の活動から



厚木市議会では東日本大震災後、「かんばるう日本」と書いたのぼり旗をつくりました。(右：釘丸議員、左：栗山議員)

9月議会 今後の予定

9月12日(月)	総務企画常任委員会
13日(火)	市民福祉常任委員会
14日(水)	環境教育常任委員会
15日(木)	都市経済常任委員会
21日(木)	決算委員会
22日(木)	決算委員会
28日(水)	議運・決算委
10月4日(火)	議運・本会議

時間は、午前9時から
ぜひ、傍聴においでください。

栗山議員 障害者及び難治性疾患患者の対応について、現状と課題は何か。
市長 本市の心身障害者医療費助成制度については、身体、知的、精神の三障害者を対象に、健康保険の自己負担分を助成し、障害者の福祉向上を図っています。
難治性疾患患者については、身体障害者手帳を取得している方は、医療費助成の対象となっております。

市長 流産や死産を繰り返してしまいう不育症につきましては、大半が原因不明とされており、好妊を重ねれば出産の可能性があらることがわかってきております。一方では、治療の効果が、科学的に分析されていない現状があることを認識しています。

栗山議員 不育症に対する市の認識は。
市長 子どもが欲しいと願う夫婦に対し、医療保険の対象とならない高額な医療費を要する特定不妊治療費の一部を助成することにより、経済的負担の軽減が図られたものと考えています。今後、制度の周知をより一層図ってまいります。

医療費助成について
少子化対策としての不妊治療費助成の成果と課題は何か。

市長 子どもが欲しいと願う夫婦に対し、医療保険の対象とならない高額な医療費を要する特定不妊治療費の一部を助成することにより、経済的負担の軽減が図られたものと考えています。今後、制度の周知をより一層図ってまいります。

文化財について

栗山議員 人が生まれて、人として、厚木市民として、育ち、生活していく中で、厚木の豊かな自然と文化に触れ、学ぶ機会は、多ければ多い方がいいのは、言うまでもありません。

厚木にある、文化財をはじめとする多くの資料と、市民との接点をどのようにしていくのか。文化財を市民が享受できる体制の現状と課題は何か。

市長 郷土資料館に学芸員を配置し、特別展示や収蔵資料展示、出前展示、各種講座を開催し、市民の皆様は文化財を身近なものとして感じていただけるよう努めています。

栗山議員 埋もれている文化財の調査・公開を積極的に行うべきと思うがどうか。
市長 市内には、歴史的資料等を始めとして、数多くの文化遺産があり、学術的な調査を実施し、公開もしています。

9月の法律相談は
9月29日(木) 14時～
事前の連絡をお願いします。